

研究課題(テーマ)		三現主義に基づく県内企業の認知度向上と富山ライフの魅力PRを通じた県内定着率向上	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	教授	堀川 教世
	機械システム工学科	-	学科全教員
研究結果の概要			
<p>○ 背景と目的 ○</p> <p>県立大学を卒業した後、引き続き富山で暮らして活躍する学生さんの数を増やすことを目的に、以下の取り組みを行いました。</p> <p>○ 目的の達成に向けた5つの取り組み ○</p> <p>就職活動が始まる前の学生さんを対象に、県内企業のことや、県内に住むメリットを知ってもらう機会を複数回設けました。また、特に県外出身の学生さんに富山の魅力や富山での働き方、富山での過ごし方をPRし、卒業後も富山に残る意欲をもつ学生さんの増加を目指しました。</p> <p>取組1 県内企業を直接訪問した現地での見学(対象:全学年・希望者)</p> <p>取組2 県内企業で活躍するOBによる講演(対象:学科1年生全員)</p> <p>取組3 T-messe 2023 参加を通じた県内企業の理解(対象:学科3年生全員)</p> <p>取組4 県内企業や県庁労働政策課の方による講演(対象:学科1,2年生)</p> <p>→ 取組1-4で県内企業への就職への興味関心を低学年時から高める</p> <p>取組5 県内インフルエンサーによる富山の魅力・遊び場・働き方PR(対象:学科1年生)</p> <p>→ 取組4,5で特に県外出身者の富山に住むこと・富山ライフへの興味関心を高める</p> <p>○ 結果 ○</p> <p>取組1では、昨年度に比べて見学に参加した人数が増加し、県内企業へ興味関心をもつ学生さんが増加しました。また、県内企業に就職を希望する低学年時の学生さんを増やすことができました。取組2では、学科の1年生全員を対象に、本学OBで現在県内企業にお勤めの方に講演をしていただきました。その結果、お勤めの企業や県内企業への就職、県立大学の大学院への進学への学生さんの興味関心を高めることができました。取組3では、学科の3年生全員を対象に、T-messe 2023への参加を通じて県内企業について幅広く知ってもらうことができ、その後の就職活動に役立ててもらうことができました。取組4,5では県内企業の方や県庁の方、県内で活躍中のインフルエンサーの方のお話を聞き、県内企業や県に対する学生さんのイメージを変え、富山で暮らす・遊ぶ・働く魅力を伝え、富山ライフを楽しむためのコツを伝えることができました。</p>			
今後の展開			
<p>コロナ禍の収束傾向を受け、今年度は、現地・現物を見ながら、富山県内企業や富山の暮らしについて、低学年時から理解し、進路選択に役立ててもらうことを目的に活動を進めましたが、当初の目標をほぼ達成できました。県内企業への就職意欲低下要因として、富山の気候や県内企業の課題を挙げる学生が複数見られたことから、これらの課題の解決や課題を超える魅力の創出が県内企業へ就職する人数の増加につながると考えられます。なお、例年に比べて「地元就職志向」が低い傾向にあったため、県外出身者の県内企業への就職数が増加する可能性は高いと考えられます。コロナ禍の収束により、学生さんの就職先に対する考えが変化しつつあると推察できます。</p>			



T-messe 2023 見学



“富山の魅力”の講義